

五反田小学校だより

名古屋市立五反田小学校

〒454-0946

名古屋市中川区一色新町一丁目 601

TEL (052) 301-0061














FAX (052) 301-2059

<http://www.gotanda-e.nagoya-c.ed.jp/>

保護者・児童アンケート、教職員の評価の結果です

12月に実施した保護者・児童アンケート、教職員の評価の結果を報告させていただきます。これらのアンケートの結果を生かし子どもたちの成長につながるようにしていきたいと思っております。保護者アンケートには、全児童512名のうち366名(71.5%)の保護者の方から回答がありました。結果は下の表のようになりました。ご協力ありがとうございました。

※得点は、よくあてはまる=4点、ややあてはまる=3点、あまりあてはまらない=2点、あてはまらない=1点として計算した平均点です。満点は4.0。教職員の評価は、後期に実施しました。

「学校が楽しい」について		得点
 保護者	子どもは、学校へ楽しく行っている。	3.65
 児童	わたしは学校へ行くのが楽しい。	3.45
 教職員	子どもは、学校で楽しく過ごしている。	3.26
「学校教育努力点(思いや考えを言葉で伝え合おう)」について		得点
 保護者	子どもは、自分の思いや考えを言葉で伝えようとしている。	3.20
	子どもは、人が話すときに、伝えたい内容を一生懸命聞こうとしている。	3.10
 児童	わたしは自分の思ったことや考えたことを言葉で伝えようとしている。	3.21
	わたしは相手の人が話すときに、何を伝えたいのかいっしょうけんめい聞こうとしている。	3.58
 教職員	子どもは、自分の思いや考えを言葉で伝えようとしている。	3.00
	子どもは、相手が話すときに、伝えたい内容を一生懸命聞こうとしている。	2.95
「あいさつ」について		得点
 保護者	子どもは、「おはよう」「こんにちは」などのあいさつが進んでできる。	3.16
 児童	わたしは「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつを進んで言うことができる。	3.15
 教職員	子どもは、進んであいさつすることができている。	2.80
「勉強」について		得点
 保護者	子どもは、勉強に進んで取り組んでいる。	2.99
 児童	わたしは勉強に進んで取り組んでいる。	3.23
 教職員	子どもは、学習に進んで取り組んでいる。	2.84
「交通安全」について		得点
 保護者	子どもは、交通安全に気を付けようとする意識が高まっている。	3.26
 児童	わたしは、歩いたり、自転車に乗ったりするとき、交通安全に気を付けている。	3.65
 教職員	子どもは、歩行や自転車に乗る際には、交通安全に気を付ける意識が高まっている。	3.05
「人の嫌がることをする」について		得点
 保護者	子どもは、人が嫌がることを言ったり、乱暴なことをしたりしていない。	3.24
 児童	わたしは人のいやがることを言ったり、乱暴なことをしたりしていない。	3.39
 教職員	子どもは、人の嫌がることを言ったり、乱暴なことをしたりするなどのいじめをしていない。	2.89

「学校が楽しい」についての得点が本年度も高かったことは、大変うれしいことです。一方で、「あまり楽しくない」と答えた児童がいることも忘れず、個に目を向けた指導を継続していきます。

「学校教育努力点」では、概ねよい結果でしたが、「話を聞こうとする」姿勢について、児童の自己評価と保護者・教職員からの評価に大きな差がありました。これは、児童は自分なりに聞こうとしていると思っていますが、話している保護者や教師の立場からは、十分に聞き取れていない、聞いている態度があまりよくないというところがあって、評価の差につながっているのではないかと考えます。今後は、伝え合いの中で「聞く力」「聞く態度」などにも力を入れつつ、さらなる「伝える力」の育成を図っていききたいと思います。

「あいさつ」については、毎年評価が若干低くなっています。児童会を中心に挨拶運動に継続的に取り組んでいますが、今後も根気よく指導を続けていきます。ご家庭でもご協力をお願いします。

「勉強」「交通安全」については、「聞く態度」と同じように、児童の自己評価と保護者・教職員からの評価に差がありました。児童に、「やっているつもり」「気を付けているつもり」という気の緩みがあってはいけませんので、何が不十分なのか分かるように伝えていきたいと思っております。

「嫌がること」については、「これくらいならいいだろう」と相手の気持ちを考えないでちょっかいを出している児童が多くいます。本人にも指導して分かるようにしていしつつ、保護者の方への連絡も密にし、いじめにつながらないようにしていきます。

記述欄で、行事等で門を開ける際、西と東と交互に開けてほしいというご意見をいただきました。この件につきましては、誠に申し訳ありませんが、職員の数に限りがあり、時間内に門の出入りを見守る人員を東西に付けることができません。また、何かあった場合のことを考え、職員室に近い西門を出入り口とさせていただきます。子どもたちの安全を守るため、ご理解・ご協力をお願いいたします。その他、記名のあったご意見については、個別に説明させていただきました。